

令和7年度芦屋市自立支援協議会 実務者会の進捗状況について

1. 令和7年度実務者会の取組み内容

昨年度は実務者会の取組みを見直し、今年度はその新しい取組み案とスケジュールのもと進めている。新しい取組みとしては、より広く地域課題を集約・抽出することを目的に目安箱・アンケートフォームの活用も、座談会と並行して実施した。

2. 令和7年度実務者会の開催状況

	日時	場所	内容
事前説明会	令和7年 4月21日	芦屋市保健福祉センター	・今年度、新たに構成員になっていただく方へ前年度報告と今年度の取組みについて説明会を実施。
第1回	令和7年 4月21日	芦屋市保健福祉センター	・前年度の報告。目安箱・アンケートフォームの詳細を決定。
第2回	令和7年 5月27日	芦屋市保健福祉センター	・座談会の実施計画の立案。 ・アンケートフォーム・目安箱の設置・配布状況を確認
第3回	令和7年 6月24日	芦屋市保健福祉センター	・座談会の申込チラシ・ポスターの配布先、ポスターの内容決定。チラシを配布中。出張座談会の検討 ・アンケートの途中経過を確認。スケジュールの確認。
第4回	令和7年 7月22日	芦屋市保健福祉センター	・座談会の担当・当日手順について検討。アンケートの活用について検討。
第5回	令和7年 8月26日	芦屋市保健福祉センター	・アンケート集計について検討。 令和6年度配布の『自立支援協議会周知カード』配布状況の確認と配布先調査。
座談会	令和7年 9月6日 9月8日 9月17日	芦屋市保健福祉センター	・座談会実施。 直後に振り返りを実施し、どのような課題が語られたかを担当間で共有・客観的視点で取りまとめを作成する。
第6回	令和7年 10月28日	芦屋市保健福祉センター	・座談会とアンケート・目安箱から出てきた課題を検討。 ・令和6年度配布の『自立支援協議会周知カード』配布状況・配布先調査の結果を確認。増刷の方向となる。
第7回	令和7年 11月25日	芦屋市保健福祉センター	・前回出された課題の抽出をもとに次年度専門部会で行う取組み内容をどのように選択するか検討。 ・『自立支援協議会周知カード』の配布開始。
12月26日 第1回本会議にて進捗を報告			
第8回以降	令和7年 12月～ 令和8年 3月	未定	・専門部会取組み案の決定 ・次年度実務者会・専門部会構成員の選定・引継ぎ方法について検討。 ・今年度実務者会 活動内容の振り返り、評価。
第2回本会議にて報告			

3. 第7回終了時点での進捗状況

昨年度見直した取り組み案を試みる一年であり、特に新しい取り組みであった目安箱・アンケートフォームの設置については議論に時間を要し、当初の予定に比べ会議の回数が増え、結果、月に一度会議を開催した。構成メンバーは、次年度の専門部会への引継ぎを意識し、今までよりも増員していることもあり、障がい福祉のいろんな分野から意見や気づきが集まった会議となった。

新しく企画したスケジュールに基づいて、目安箱・アンケートフォームの詳細を決定。芦屋市障がい団体連合会の会議やまるっと説明会実行委員会にて、周知を依頼するほか、各構成員が設置依頼可能な場所に設置をした。

その結果、集まったアンケートは112件。その集計方法や活用について検討した。思った以上に集まった意見をどう活用していくかを意見交換した結果、座談会での活用に加えて、アンケートから地域課題の抽出を行なった。グループに分かれて検討し、3つの課題として作成。座談会にてまとめられた課題とともに比較検討していくこととした。

座談会については、昨年度は行っていないため、令和5年度に開催した際の記録をもとに検討し、平日2回、土曜日1回の計3回、時間帯は午前10時30分～、午後1時30分～例年通りの開催とした。広報7月号に募集を掲載し、申込期間は7月1日～7月31日までとし、申込みフォームとメールにて応募を受け付けた。

保健福祉センターを会場とし、日程は、9月6日(土)、9月8日(月)、9月17日(水)の三日間で設定し、2グループずつ話ができるよう定員を設けたが、参加者希望は15名となり、それぞれ1グループずつ実施した。1回あたり90分、その後構成員と事務局とで、60分振り返り記録のまとめを行った。出張座談会の検討もしたが、今回新しくアンケートを実施したこともあり、時間に余裕がないだろうという判断から今年度は開催しない方向となった。

第6回の実務者会では、座談会から出てきた課題まとめ3枚とアンケートフォーム・目安箱から出てきた課題3枚の計6枚を資料にして検討し、座談会を振り返って共有したのち資料を参考に課題の抽出を行った。今後、抽出された課題の中から次年度専門部会で行う内容を選んでいく。第7回の会議では「居場所」「障がい理解」「保護者の不安」がテーマとしては上がっており、これら3つはリンクしているのではないかという意見もあった。また、居場所がスマホの中にあることも昨今は多いのではないかという意見もあり、実際に対面で集まるほか、オンラインやアプリ等の活用の可能性も検討していく。

また、昨年度配布の『自立支援協議会周知カード』の配布状況の確認と配布先調査をし、それをもとに今年度の印刷部数を確定し290部印刷した。自立支援協議会本会議でも資料として配布予定。自立支援協議会に興味をもっていただけるように啓発の取り組みとして有効活用したい。